

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記③

国立市立国立第七小学校

平成28年2月2日 NO.86 (286)

オー君 「モンタ博士！空がなぜ青いのか。太陽の光とどう関係があるのですか。」

花ちゃん 「太陽の光って、よく見えないし、よくわからないんですが。」

モンタ博士 「太陽の光とは七つの色からできているんだよ。七色で何か思い出さない？」

オー君 「七色って、『虹』のことですか。」

モンタ博士 「ピンポン。そのとおり。みんなは『虹』を見たことがあると思うけど、あるものでその七色が見えるんだ。何だかわかるかな。」

オー君 「なんだろう。わかんないな。」

モンタ博士 「みんなもよく見ているはずだよ。自分で持っている人もいるね。それはね、丸くてうすくて、直径が12センチくらいで、まん中に穴もあるよ。」

花ちゃん 「ふーむ。わかんないわ。ギブアップです。」

オー君 「あ！わかった。それは『CD』だ。」

花ちゃん 「そうか、そういえば七色に光りますね。わたし、不思議に思っていました。」

モンタ博士 「あのCDの七色は、太陽の光を反射している色なんだよ。」

オー君 「つまり、虹の七つの色と同じなんですね。」

モンタ博士 「そうだよ。空がなぜ青いのかというのは、太陽の七つの光と関係があるんだ。」

そして、これからはもう少ししていねいにお話するね。ここでまた質問だけど、みんなの住んでいる地球のまわりには何がありますか。これはちょっとむずかしいかな。これがないと息ができないんだ。」

花ちゃん 「地球のまわりにある？息ができない？なんだろう。」

オー君 「あ！わかった。空気だ。」

モンタ博士 「ピンポン。今日のオー君はさえているね。太陽の光が空気の間を通る時、空気の中の小さな小さなつぶつぶにあたると、青い色があちこちに飛び散るということなんだよ。それで、空が青くなるということなんだよ。」

花ちゃん 「ふーん。わかったようなわかんないような。」

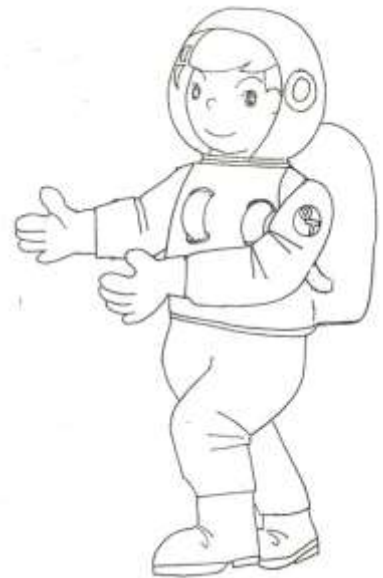
モンタ博士「まあ、このへんのお話はなしになると小学生しょうがくせいにはちょっとむずかしいね。もう少し大きくなってからしっかりと勉強べんきょうするといいよ。つまり、空気くうきがあるということが大切たいせつなんだね。ところで、右は絵みづえはなんだろうね。」

オー君 「宇宙飛行士うちゅうひこうしみたいですね。」

モンタ博士「すごいかっこうしているだろう。月つきで歩く時はこういうかっこうをするけど、どうしてわかるかな。」

花ちゃん 「月つきには空気くうきがないからですか。」

モンタ博士「ピンポン。そのとおり。花ちゃんもさえてきたね。だからね、月つきで、もしみんなが空そらを見上げると、どんなふうになるかというとき…みんなも見たことがあると思うけど、下したのような月面リムンの写しゃ真しんになるわけさ。」



オー君 「夜よるのようにまっくらですね。」

花ちゃん 「空気くうきがないから、空そらが青あおくならないのですね。」

オー君 「へえー！ そうなんだ。おもしろいな。なるほどな。モンタ博士！ 空そらが青あおく見えるのはわかりましたが、夕日ゆうひはどうして赤あかいのですか。雲くもはどうして白しろいのですか。」

モンタ博士「それはまた明日あしたをお楽しみたのみに。」